

単元名

2年「どうぶつ園のじゅうい ～植田さんに感想を伝えよう～」

阿達 愛実

1 子どもは、身に付けさせたい力を習得できたか

○作例を読んでそのよさを話し合うことを通して、3つ目のまとまりには、獣医の仕事と自分の知識や体験とを比べて考えたことを書くことを理解し、文に表すことができる。

本時のねらいは、18人中15人が達成することができた。作例と照らし合わせることで、自分の経験と本文で読み取ったことを結び付けて書くことができた。達成できなかった3人のうち、1人は3つ目のまとまりを書くことができなかった。また、他の2人は、文の内容に「自分と比べたこと」が書かれていなかった。クラス全体としても、授業の前半で「3つ目のまとまりに書くことを思いついた人はいますか。」と聞くと、3人しか手が挙がらなかった。そのため、ペアでの話し合いが上手く進まない様子も見られた。話し合いを充実させ、解決の見通しをもたせるために、作例にどのようなことが書いてあるか確かめたり、ペアで話し合わせる前に例を挙げたりすることが必要であった。

単元を貫く言語活動として、「植田さんに手紙を書こう」を設定したことは、子どもたちの「書きたい」意欲を高めるために有効であった。今後は、高まった意欲を持続させる工夫についても考えていく。

2 かかわり合い（考えの広がり・深まり）

3つ目のまとまりに書く内容を考えた後、何人かの児童に考えを発表させた。初めは、自信がなさそうにしている児童が多かったが、友達の考えを聞くうちに自信がもてた様子で、少しずつ挙手が増えた。内容が決まらず困っている児童については、全体の場で取り上げ、みんなでアドバイスをした。「自分が治療されたときの気持ちを書いたらよいと思います。」「自分と比べたことを書くとよいと思います。」などの意見が出され、書く際の見通しにつながった。

よいかかわり合いの姿として、次のような対話があった。

(A児：書くことについて具体的なイメージがある。 C児：何を書いたらよいか分からない。)



A「私は、こういうことを書くよ。薬を飲むとき、好きなものを食べて苦い味をなくすよ。」

C（聞いているが、なかなか反応しない。）

A「Bさんは、歯の治療したことある？」

C「うん。」

A「じゃあ、その時のことを書けばいいよ。治療したときの気持ちとか。」

A児は、C児に対して優しくアドバイスをした。「ここに『きっとワラビーは…』って書いて。」「この字はこの漢字だよ。」と具体的に話したことで、C児は、抵抗なく作文を書くことができていた。

他にも、3つ目のまとまりを書き終えた児童から、「お助け隊」となって、自由に移動してアドバイスできるようにしたことで、積極的に友達とかかわる姿が見られた。



今後、さらにかかわり合いを充実させるために、ペアやグループの作り方について検討する必要がある。今回は、C児とA児がペアになるようにしたが、ペアによっては、テーマが違うため話し合いが進まなかった。ペアの作り方をテーマ別にする事で、より活発なかかわり合いが生まれたのではないかと考える。



3 書くこと・その他有効であると思われたこと

- 作文を書くワークシートに、作例を載せたことで、児童は作例を参考にしながら書いていた。教室掲示されていた、場面ごとにまとめた表も活用できるとよい。また、自分のノートを振り返って参考にする習慣も身に付けさせていく。
- 児童の書くスピードに合わせて板書することができた。
- △書こうとしている内容をメモさせ、意見をまとめてから書かせた方がよかった。
- △振り返りを書くときに、少し戸惑う児童がいた。書く観点を示して、書きやすくしていく。

じゅういさんのしごとで、わたしがすごいなと思ったところは、ニホンザルにくすりをのませたことです。なぜかという、わたしも小さいとき、くすりが大きらいだったからです。

じゅういさんは、エサの中にくすりを入れたり、バナナにはさんだり、はちみつにまぜたりして、ニホンザルにくすりをのませていました。

わたしがくすりをのんだ時は、のんだあとにすきなものを一つたべて、くすりのあじをおいしいあじにして、のんでいました。

いろいろなくふうをして、くすりをのませるじゅういさんは、すごいなと思いました。



子どもが書いた「植田さんへの手紙」。本時では、太線で囲んだところを書いた。

九月二十五日月曜日

どうぶつ園のじゅうい

うへださんに、文しょうを
読んで考えたことを
書いてつたえよう。

九月二十五日月曜日

三つ目のまとめりには、
どんなことを書いたら
よかつたわるかな。

ばくも日記を
書いていること。
わたしも自てん車
にのること。
くすりをのんだ
時のこと。
自分がやるとき
のこと。気もち
自分とくらべた
こと。

ワラビーと自分の
気もちをまとめた
こと。

わたしたたらう...

知っていることや、みのまわりの
できごとをくらべて、にている
こと、ちがうこと、考えたことを
書くこと、つたわりやすい。

ふりかえり

いろいろな動物のしごとをまとめた表

じゅういさんのしごと	わたしが書いたこと
じゅういさんは、いしがらにエサをのませる。	わたしもいしがらにエサをのませる。
じゅういさんは、バナナにエサをのませる。	わたしもバナナにエサをのませる。
じゅういさんは、はちみつにエサをのませる。	わたしもはちみつにエサをのませる。